

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成19年9月14日(金)

学 級 2年1組 39名(男子22名 女子17名)

授業者 吉田 亜矢子

場 所 大船渡市立第一中学校 2年1組教室

1 単元名 提案のしかたを工夫しよう 「プレゼンテーション」

2 単元について

(1) 教材観

本単元の教材は、国語科2・3学年の目標「自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身につけさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる」を実現するためのものである。

聞き手の理解や同意を得られるように、提案のしかたを工夫しながら、プレゼンテーションを行うという内容である。発表者は、筋道を立てた構成を考える」「視覚に訴える」など説得力をもたせるための工夫をし、聞き手の読書意欲につなげていきたい。プレゼンテーションの内容としては、夏休みの課題である「ノンフィクション作品の読書」の中からおすすめの本を紹介するという課題を設定した。

(2) 生徒観

全体的に意欲的で、授業に前向きに取り組む生徒が多い。しかし、発言に関しては、決まった生徒が挙手することが多く、さらに、自分の考えを述べる問いを苦手としている。考えは持っていて、まとめることができなかつたり、自分から積極的に述べることができなかつたりする生徒が多い。実際、アンケートを取ってみても、7割の生徒が、「人前で自分の意見を話すことを苦手だ」と答えている。理由を見ると、「緊張してしまう」「恥ずかしい」というものが多い。

そこで、少しでも多く「話す・聞く」場を設けるために、授業の中で4人グループでの話し合いを取り入れたり、短学活の中で、1分間スピーチを行ったりしている。また、ただ発表するだけでなく、質疑応答を取り入れることで、一方通行にならないように意識し、活動させている。

読書活動に関しては、8割の生徒が「読書が好きだ」と答えており、図書室利用も活発である。しかし、読書傾向に偏りが見られるのが課題である。ファンタジー小説や怪談話、青春小説がほとんどであり、最近では女子が携帯小説を好んで読んでいる。そこで、より広いジャンルの読書活動を促すために、夏休みにノンフィクション作品の読書を課題とし、今回のプレゼンテーションのテーマに組み込むこととした。

(3) 指導観

「話すこと・聞くこと」については、中学1年生では、スピーチの仕方について、中学2年生の1学期には、聞くときのメモのとり方について学習してきた。読書関連の活動では、夏休みの課題として、ノンフィクション作品の読書とパンフレットの作成を行っており、その学習を受けて、今回のプレゼンテーションを設定した。さらに、中学3年生では、個人による学級を対象にしたブックトークから、代表者による1年生を対象にしたブックトークへと発展させる予定である。

今回、プレゼンテーションの発表を行う際、「資料の整理のしかたや資料の上手な使い方」「資料を提示する順番の工夫」「わかりやすい言葉に置き換える」といった点を意識させることで、聞き手に内容が効果的に伝わるように工夫させたい。また、さらに「相手の同意を得る」「説得する」ということを視野に入れて、より積極的に自分たちの提案を伝えることを意識させたい。以上の点について、生徒には、事前に視点を与え、相互評価を行わせたい。

3 指導計画(6時間扱い)

時	学習活動	観点	具体的評価規準B	C具体的な手だて	方法
1	学習の目標と見通しを持ち、グループごとにテーマを決める。	関心	・プレゼンテーションの意味を理解し、グループの話し合いに積極的に参加している。	・話し合いに必要な材料を事前に準備させておく。具体的な例を示しながら、取り組ませる。	観察 学習シート

2 3	聞き手の立場に立ち、わかりやすく、効果的なプレゼンテーションの構成を工夫する。	話・聞	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った内容の分析や言葉選び、発表の流れや役割分担について、目的意識をもって話し合っている。 ・導入、本論、まとめの構成を意識し、話し方、資料の作り方、提示の仕方などを工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で進行役を決め、話し合いの目的を確認させながら、活動を行わせる。 ・学習シートを参考に、わかりやすい構成を考えさせる。また、リハーサルの時間を確保し、相互評価を行わせることで、内容を改善させる。 	観察 学習シート 模造紙等授業に必要な物
		関心	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的にグループの話し合いに参加し、プレゼンテーションのテーマや方法について、具体的な提案を行おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いに必要な材料を事前に準備させておく。具体的な例を示しながら、取り組ませる。 	
4 5 6	プレゼンテーションを行う。	言語	<ul style="list-style-type: none"> ・話す速度や音量、抑揚や間の取り方を工夫して話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時のプリント、評価の観点を記入したプリントを用いながら、気をつけることを確認させる。 	観察 自己評価 相互評価
		話・聞	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の内容を正確に聞き取り、発表内容についての的確に質問したり、感想を持ったりしている。 ・聞き手を納得させるために、資料の提示のしかたや話し方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4人グループでの話し合いの時間を確保することで、自信をもって発表させる。 ・事前に練習させることで、原稿からなるべく目を離し、聞き手の反応を見ながら、話させる。 	

4 本時の達成目標

言語事項	顔をあげて、話す速度や音量、抑揚や間の取り方を工夫して話している。
話すこと・聞くこと	相手にわかりやすく資料を提示したり、分かりやすいことばで発表したりしている。発表の内容を正確に聞き取り、発表内容についての的確に質問したり、感想を持ったりしている。

5 本時の指導構想

本時は、プレゼンテーションの発表会の3時間目であり、前時までの発表会の反省を生かし、まとめとして取り組ませたいと考えている。話し手、聞き手ともに、事前に評価の観点を書いた学習シートを渡し、意識させることで、より内容の濃い話し合いとさせたい。さらに、本時は、質疑応答の内容に重点をおきたい。自信のない生徒のためにも、グループ学習を取り入れ、質問・感想を練りあう時間を十分に確保したい。

6 本時の展開

過程	学習活動	評価の視点・方法	指導の留意点	教材・教具
導入 5	<p>1 前時の想起する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の発表会で挙げられた反省点を確認する。 <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>プレゼンテーション 発表会～売り上げ 1書店を目指そう！ ～</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・前時のプリントを確認させる。 ・話し手、聞き手のめあてを確かめる。 	紙板書
展開 3 5	<p>3 プレゼンテーションを行う</p> <p>《一つ目のグループが発表》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに質問を出し合う ・質疑応答 ・ワークシートへの記入 <p>《二つ目のグループが発表》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに質問を出し合う ・質疑応答 ・ワークシートへの記入 <p>《感想発表》</p>	<p>《話し手》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なるべく原稿から目を離し、速度、音量、抑揚、間の取り方を調節して話している。(言語) ・相手の関心をひきつけるような資料の提示のしかた・話し方で、発表している。(話すこと・聞くこと) <p>《聞き手》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容を聞きとり、もっと知りたいことを質問したり、感想を持ったりしている。(話すこと・聞くこと) ・発表者の良かったところ、頑張ってほしいところをプリントに記入し、発表することができる。(話すこと・聞くこと) 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の観点を記入したプリントを用いながら、気をつけるところを確認させる。 ・4人グループでの話し合いの時間を確保する。 ・一人一人のがんばりを確かめ合い、成就感、達成感が持てるようにする。 	<p>発表に必要なもの</p> <p>学習シート</p>
終末 1 0	<p>4 学習のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションで気をつける点を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な発表のしかたについて、発表活動を振り返って、自分の言葉でまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを自分たちの日常生活に生かせるようにする。 	学習シート